

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	木祖村 (204251)
地域名 (地域内農業集落名)	木祖村全域 ( )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

### 1 地域における農業の将来の在り方

#### (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	253 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	196 ha
② 田の面積	90 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	106 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	7.37 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	120 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

#### (2) 地域農業の現状及び課題

現時点では認定農業者等に必要な農地は集積されているが、今後農業者の減少により利用されない農地が発生する。採草地として利用している農地も畜産農家の減少により維持ができなくなる場所も増加傾向にあり、耕作できる農地に戻す方策と耕作者の掘り起こしが必要となる。現在耕作中の農家も家族経営がほとんどであり、家族内の労働力も高齢化により少なくなっていくことが考えられる。

#### (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

県営ほ場整備事業等により「御嶽はくさい」の団地として産地化されており、また、高標高の冷涼な気候を生かしたスイートコーン、そばの生産が近年増加傾向にあり今後も品質の維持に努める。畜産部門においては、木曾牛や木曾子牛の生産に励んでおり、また畑作農家への堆肥の供給により循環型農業を実践しているため、これを維持していく。  
 これらの認定農業者等を中心に「地域内の農業を担う者」に位置付け農地集積を進めるとともに、高齢化への対応並びにブランド及び生産力の維持を図るため、JA等と協力し新規就農者を確保する取組みを進める。  
 集積が行いつらい農地については、現状の管理を継続し、今後耕作を希望する方が見つかった際にすぐに利用ができるよう負担の少ない方法による農地維持を進める。耕作が難しい場合は景観や安全の観点からも草刈り等による保全を行う。

### 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地の機能向上や農業用排水施設の適切な維持・更新、地域農業の中心となる経営体の育成・確保から、地域で生産された農産物の販売促進のため6次産業化施設の利活用を推進する。畜産農家の牧草の生産規模が限界にきていることから、集約化の行いにくい狭い圃場や不整形地に対し、比較的肥培管理や労力の負担が少ない方法での維持管理を行っていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	58 %	将来の目標とする集積率	60 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

現在集約化されている、西山、大原、飯米原等について、耕作者が利用しやすい様、土地利用方法を耕作者の話合い機会を確保することにより随時見直す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

現在の集積状況を維持しつつ、耕作者に貸付を行っていない農地については意向確認の上、集積化を推進する。

(2)農地中間管理機構の活用方法

契約が満了したものは、随時、中間管理事業に移行していく。また、現在、既に中間管理機構を利用しているものは引き続きの利用を促す。

(3)基盤整備事業への取組

当面、基盤整備の予定はないが、地域の意見を踏まえ検討する。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。家族経営の農家の繁忙期の労働力を確保できるよう体制の検討を行う。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

農作業が困難となりそうな農地についてはそば等の栽培を推進し、ファーム木祖での受託に取り組む。農作業委託を請け負うことのできる集落営農組織の設立について検討を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①適格な侵入防止施設の設置を推進し、自らの農地は自ら守ることを前提とする。一方個体数調整のための新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		134.1 ha	32 ha		141.5 ha	32 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

No.	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				備考
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標 地	
1	利用者		花・野菜苗	1.1 ha	ha	花・野菜苗	1.1 ha	ha	A	
2	利用者		そば	7 ha	32 ha	そば	3 ha	32 ha	B	
3	認農		飼料用作物	14 ha	ha	飼料用作物	14 ha	ha	C	
4	認農		野菜、そば	8 ha	ha	野菜、そば	8 ha	ha	D	
5	認農		飼料用作物	10 ha	ha	飼料用作物	10 ha	ha	E	
6	認農		野菜	3.2 ha	ha	野菜	3.2 ha	ha	F	
7	認農		野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	G	
8	認農		野菜、そば	8 ha	ha	野菜、そば	8 ha	ha	H	
9	認農		野菜、そば	4.6 ha	ha	野菜、そば	4.6 ha	ha	I	
10	認農		飼料用作物	1.6 ha	ha	飼料用作物	1.6 ha	ha	J	
11	認農		野菜	6.5 ha	ha	野菜	6.5 ha	ha	K	
12	認農		野菜	2 ha	ha	野菜	2 ha	ha	L	
13	認農		野菜、そば	1.7 ha	ha	野菜、そば	1.2 ha	ha	M	
14	認就		飼料用作物	14 ha	ha	飼料用作物	14 ha	ha	N	
15	認就		野菜、そば	3.2 ha	ha	野菜、そば	5.2 ha	ha	O	
16	利用者		飼料用作物	5 ha	ha	そば	0.5 ha	ha	P	
17	利用者		そば	0.85 ha	ha	そば	0.85 ha	ha	Q	
18	利用者		そば	2.2 ha	ha	そば	2.2 ha	ha	S	
19	利用者		野菜、そば	1.4 ha	ha	野菜、そば	1.4 ha	ha	T	
20	利用者		野菜	0 ha	ha	野菜	5 ha	ha	U	
21	利用者		水稻	0.66 ha	ha	水稻	10 ha	ha	V	
22	利用者		野菜、そば	38.3 ha	ha	野菜、そば	38.3 ha	ha	Z	
23				ha	ha		ha	ha		
24				ha	ha		ha	ha		
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		